

【調査結果（単純集計データ）】

貯蓄と消費に関する世論調査（平成12年）

（注）回答欄に併記された計数は、選択肢形式の場合は回答比率（%、小数第2位四捨五入）、数値記入形式の場合は合計項目の回答世帯を分母とする平均値（単位未満四捨五入）を示す。また、数値記入形式において欄外に記した数値は、合計項目の回答世帯を分母とする保有率（%、小数第2位四捨五入）を示す。問3（a）に示した欄外計数については、貯蓄保有者の合計世帯数を分母として、算出。「現在の外貨建金融商品残高合計」については、各項目の金額回答世帯の平均値。なお、無回答者を掲記していないため、単数回答項目について、その回答比率の合計は必ずしも100とはならない。

問1

あなたのご家庭では、(a)過去1年間に手取り収入（税引後）の何%（%未満は四捨五入）ぐらいを貯蓄^{（注）}しましたか。

また、(b)年間手取り収入のうちボーナスや臨時収入（税引後）からは何%（%未満は四捨五入）ぐらいを貯蓄しましたか（商・工業や農・林・漁業等事業のための貯蓄や、給与振込、口座振替など一時的にしか口座にとどまらないような預貯金は含めないでお答えください。以下の質問についても同様です）。

該当する番号に 印をつけてお答えください。

（注）この調査でいう貯蓄とは金融資産（問3に記載の貯蓄商品）であり、土地・住宅等の実物資産は含みません。

（記入例）

例えば、年間手取り収入100万円のうち

5万円を貯蓄した場合 →

	5
--	---

 %

12万5千円を貯蓄した場合 →

1	3
---	---

 %

とご記入ください（%未満は四捨五入）。

- | | | | | | |
|------------------------|------|--|------|---|------|
| (a) | { | 1 年間手取り収入の <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">1</td><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td></tr></table> %ぐらいを貯蓄した。 | 1 | 0 | 73.5 |
| | | 1 | 0 | | |
| 2 年間手取り収入から貯蓄を全くしなかった。 | 24.9 | | | | |
| (b) | { | 1 ボーナスや臨時収入の <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">2</td><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">7</td></tr></table> %ぐらいを貯蓄した。 | 2 | 7 | 42.4 |
| | | 2 | 7 | | |
| | | 2 ボーナスや臨時収入から貯蓄を全くしなかった。 | 19.0 | | |
| 3 ボーナスや臨時収入がなかった。 | 36.0 | | | | |

問2

あなたのご家庭では、現在、貯蓄を保有していますか。（ は1つ）

1
貯蓄を保有している。
87.6
↓
続けて問3にお答えください。

2
貯蓄を保有していない。
12.4
↓
続けて問4にお答えください。

問3

(a) あなたのご家庭では、現在の貯蓄商品別残高（手持ち現金を除き、外貨建金融商品を含めます）およびその合計額はどのくらいですか。

貯蓄商品	現在の貯蓄残高					記入に当たっての注意	
	億	千万	百万	十万	万円		
1 預貯金			5	2	6	郵便貯金は除く。外貨預金（円換算額）を含めます。	74.4
うち定期性預金			3	7	6	期間の定めのある預金。	56.2
2 郵便貯金			2	8	1		58.7
うち定期性貯金			2	3	7	定額貯金、積立貯金など期間の定めのある貯金。	49.6
3 金銭信託・貸付信託				3	9	ビッグ、ヒット、スーパーヒットを含む。	6.9
4 生命保険・簡易保険			3	0	0	これまでに払い込んだ保険料の総額。ただし、掛け捨ての保険、年金型商品は除く。	58.8
5 損害保険				3	3	これまでに払い込んだ保険料の総額。ただし、掛け捨ての保険、年金型商品は除く。	17.5
6 個人年金保険				7	0	これまでに積み立てた掛け金の総額。厚生年金、国民年金、公務員共済など公的年金の掛け金は除く。	21.4
7 債券				1	9	時価 現在の相場 でお答えください。ご不明なら額面でお答えください。外貨建分（円換算額）を含めます。	3.5
8 株式			1	0	3	従業員持株制度による株式を含む。時価 現在の相場 でお答えください。外貨建分（円換算額）を含めます。	17.9
9 投資信託				3	2	時価 現在の相場 でお答えください。ご不明なら額面でお答えください。外貨建分（円換算額）を含めます。	5.8
10 財形貯蓄				4	0	一般財形、財形年金、財形住宅の合計額。	14.3
11 その他金融商品					5	抵当証券、金貯蓄口座など。	2.0
合計（1～11の総計）		1	4	4	8	外貨建金融商品（円換算額）を含めます。	100.0

(外貨建金融商品を保有しているご家庭にお尋ねします)

(b) (a)でお答え頂いたもののうち、現在、保有している外貨建金融商品の残高(記入時点の為替相場による円換算額)を下表にご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円	
現在の外貨建金融商品残高合計			3	8	2	100.0
うち外貨預金			1	3	2	43.9
外貨建投資信託			1	2	8	37.8
外貨建債券(注)			1	1	4	21.4
外貨建株式					6	8.2
その他の外貨建金融商品					2	4.2

(注)デュアルカレンシー債(二重通貨建債券)を含みます。

問4

あなたのご家庭での金融商品の保有希望について、お尋ねします。今後、1～2年の間に貯蓄を増やしたり、預け替えてみようと考えている金融商品があれば、その番号に をつけてください。(はいいくつでも)

	今後、増やしてみたい または、預け替えしてみたい
預貯金(郵便貯金を除く)	37.8
郵便貯金(簡保は除く)	36.9
信託(ビッグ・ヒットなど)	5.0
積立型保険商品(生保・簡保・損保)	7.6
個人年金保険	11.2
債券(国債、社債など)	4.1
株式	8.9
株式投資信託	4.1
公社債投資信託(MMFなど)	6.1
外貨建金融商品 (外貨預金、外債、外貨建投信など)	4.4

問5

(a) 現在、あなたのご家庭では、郵便局の定額貯金を保有していますか。(は1つ)

1 保有している。 59.1	2 保有していない。 40.5
----------------------	-----------------------

(前問(a)で1と回答した方にお聞きします。)

(b) あなたのご家庭で保有する定額貯金は、今年から来年にかけて満期が到来しますか。(は2つまで)

(注) すでに満期があり、今後も満期が到来する予定がある場合は、2と3の両方にをつけてください。

1 当分満期にはあたらない。 47.4	2 平成12年1月～6月 までに満期を迎えた。 22.6	3 平成12年7月～平成13年末 までに満期を迎える。 43.0
---------------------------	---------------------------------------	---

その金額は、どのくらいの金額ですか。
(金額は元利合計をお答えください)

	3	0	6	万円
--	---	---	---	----

(注) 2と3の両方に をつけた方はその合計金額をご記入ください。

(前問(b)の回答が2の方は(c)へ、3の方は(d)へそれぞれお進みください。)

(c) すでに満期を迎えた資金をどうしましたか。(はいくつでも)

1 郵便貯金に全額預けたままである。	66.9
2 半分以上を他の商品に預け替えた。	4.6
3 一部を他の商品に預け替えた。	5.5
4 一部を消費に回した。	20.2

預け替えを行ったご家庭では、その資金をどの金融商品に預け替えましたか。(はいくつでも)

1 預貯金(郵便貯金を除く)	58.0
2 株式	16.0
3 株式投資信託	2.0
4 公社債投資信託(MMFなど)	14.0
5 債券(国債、社債など)	12.0
6 外貨建金融商品(外貨預金、外債、外貨建投信など)	2.0
7 その他	16.0

(d) 今後、満期を迎えるご家庭ではその資金をどうしますか。(はいくつでも)

1 郵便貯金に全額預けておくつもり。	56.0
2 半分以上を他の商品に預け替えるつもり。	6.0
3 一部を他の商品に預け替えるつもり。	8.9
4 一部を消費に回すつもり。	17.6
5 特に考えていない。	14.0

預け替えようと考えているご家庭では、どの金融商品に預け替えるつもりですか。(はいくつでも)

1 預貯金(郵便貯金を除く)	36.4
2 株式	22.9
3 株式投資信託	10.7
4 公社債投資信託(MMFなど)	30.0
5 債券(国債、社債など)	20.7
6 外貨建金融商品(外貨預金、外債、外貨建投信など)	15.7
7 その他	11.4

問6

あなたのご家庭では、貯蓄する商品を決める場合に、どのようなことに最も重点をおいて選びますか。(は1つ)

- | | |
|---------------------------|------|
| 1 利回りが良いから。 | 13.6 |
| 2 将来の値上がりが期待できるから。 | 3.0 |
| 3 元本が保証されているから。 | 33.2 |
| 4 取扱金融機関が信用できて安心だから。 | 21.6 |
| 5 現金に換えやすいから。 | 5.2 |
| 6 少額でも預け入れや引き出しが自由にできるから。 | 19.7 |
| 7 その他 | 3.2 |

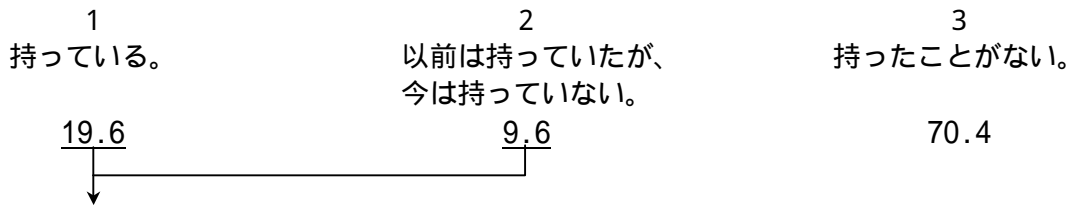
問7

あなたが金融商品を選ぶとき、高い収益が得られるチャンスと元本割れするかもしれないリスクの関係について、どちらの考え方に近いですか。(は1つ)

	どA ち に ら 近 か い と 言 え ば	ど言 ちえ らな とい も	どB ち に ら 近 か い と 言 え ば	
A				B
元本保証が約束されていなくても、そのリスクに見合う収益性が得られるチャンスがあれば、その金融商品で運用しようと思う。	7.3	29.4	62.8	元本保証が約束されていなければ、その金融商品では資金を運用しようと思わない。

問 8

(a) 金融商品のなかには、株式や外貨預金のように、株価や為替相場の変動によっては元本割れするものがあります。あなたのご家庭では、こういった商品をお持ちですか。(は1つ)



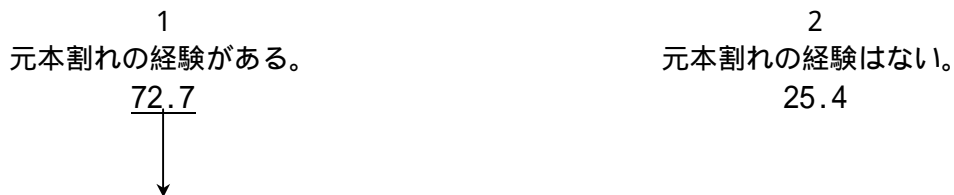
(b)と(c)へお進みください。

(前問(a)で1、2と回答した方にお聞きします。)

(b) このような金融商品を購入した時点では、元本割れする可能性について、主にどのようなお考えで購入していましたか。(は1つ)

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | 相場の変動によって、元本割れがあるかもしれないことを、自分自身が納得して購入した。 | 64.5 |
| 2 | 現実には元本割れの危険はないと金融機関や他人から聞かされて、それを信じて購入した。 | 20.7 |
| 3 | 元本割れする可能性は考えずに購入した。 | 13.5 |

(c) 運用していた資金が元本割れした経験はありますか。(は1つ)



(1とお答えになったご家庭にお聞きします。)

(d) 元本を割り込むことになった運用結果について、どのようにお考えですか。(は1つ)

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | 自分の相場についての予想が外れたのであるから、それは仕方がない。 | 65.2 |
| 2 | 自分が相場の変動によって元本割れするリスクをよく理解していなかったのであるから、それは仕方がない。 | 18.6 |
| 3 | 相場の変動によって元本割れするリスクを金融機関が十分に説明しなかったためだ。 | 12.3 |
| 4 | 著しい誤解を招く広告、勧誘を金融機関から受けたためだ。 | 3.4 |

問9

あなたのご家庭では、現在の貯蓄残高は1年前と比べて増えましたか、あるいは減りましたか。
(は1つ)

1
増えた。
22.2

2
変わらない。
33.7

3
減った。
43.8

問11にお進みください。

問10

(前問で1と回答した人にお聞きします。)

(前問で3と回答した人にお聞きします。)

(a) 「増えた」理由は何ですか?
(はいくつでも)

1	定例的な収入が増加したから。	33.9
2	定例的な収入から貯蓄する割合を引き上げたから。	26.5
3	配当や金利収入があったから。	8.5
4	土地・住宅等の実物資産の売却による収入があったから。	1.3
5	相続、退職金等による臨時収入があったから。	8.4
6	株式、債券価格の上昇により、これらの評価額が増加したから。	5.8
7	扶養家族が減ったから。	7.0
8	その他	21.6

(b) 「減った」理由は何ですか?
(はいくつでも)

1	定例的な収入が減ったので貯蓄を取り崩したから。	46.2
2	土地・住宅購入費用の支出があったから。	15.4
3	耐久消費財(自動車、家具、家電等)購入費用の支出があったから。	27.7
4	こどもの教育費用、結婚費用の支出があったから。	33.5
5	旅行、レジャー費用の支出があったから。	10.6
6	株式、債券価格の低下により、これらの評価額が減少したから。	5.4
7	扶養家族が増えたから。	4.1
8	その他	13.2

問11

あなたのご家庭では、1年後の貯蓄残高は増えていると思いますか、あるいは減っていると思いますか。(は1つ)

1
増えているだろう。
21.1

2
変わらないだろう。
42.1

3
減っているだろう。
36.3

問12

あなたのご家庭では、どのような目的で貯蓄をしていますか。(は3つまで)

1	病気や不時の災害のときに備えるため。	67.5
2	こどもの教育資金にあてるため。	32.2
3	こどもの結婚資金にあてるため。	11.8
4	住宅(土地を含む)の取得または増改築などの資金にあてるため。	18.4
5	老後の生活資金にあてるため。	55.9
6	耐久消費財(自動車、家具、家電等)の購入資金にあてるため。	12.0
7	旅行、レジャーの資金にあてるため。	14.3
8	納税資金にあてるため。	5.3
9	遺産として子孫に残してやりたいから。	3.2
10	とくに目的はないが、貯蓄していれば安心なため。	27.1
11	その他	2.8

問 1 3

あなたのご家庭では、現在どのくらいの貯蓄残高を目標にしていますか。下表に数値をご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
貯蓄目標残高		2	3	9	7

問 1 4

現在のような金利情勢の下で、あなたのご家庭では、これまでに、貯蓄に関してどのような行動をとられましたか。(はいくつでも)

- | | | |
|---|--|------|
| 1 | 少しでも利息・配当収入が増えるように、運用している貯蓄商品をより高利のものに預け替えた。 | 14.2 |
| 2 | 先行きの金利変化を予想して、短期(または長期)の貯蓄商品に預け替えた。 | 9.3 |
| 3 | 利息・配当収入が少なかったので、消費のために貯蓄を取り崩した。 | 13.7 |
| 4 | 貯蓄商品による運用を手控え、とりあえず手持ち資金として現金でもつことにした。 | 5.4 |
| 5 | とくに何もしなかった。 | 61.7 |
| 6 | その他 | 4.6 |

問 1 5

あなたのご家庭では、主取引金融機関を決める場合、どのような理由から選びますか。

(は3つまで)

- | | | |
|---|--------------------------------|------|
| 1 | 近所に店舗やATM(現金自動預け払い機)があり便利だから。 | 78.3 |
| 2 | 店舗網が全国的に展開されているから。 | 27.1 |
| 3 | 金融商品の品揃えが豊富で選択の幅が広いから。 | 2.7 |
| 4 | より収益性の高い金融商品を販売しているから。 | 3.6 |
| 5 | 金融アドバイザーとしての相談窓口が充実しているから。 | 5.0 |
| 6 | 経営が健全で信用できるから。 | 39.1 |
| 7 | 勧誘員が熱心で印象が良いから。 | 9.1 |
| 8 | テレビCM、ポスター、キャラクター商品などの印象が良いから。 | 1.3 |
| 9 | その他 | 11.2 |

問 1 6

(a) 預金者の保護を目的とした「預金保険制度」という制度があります。この制度によって、原則として1金融機関につき預金者1人当たり1,000万円までが保護されています。あなたはこの制度をご存じですか。(は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|---------|
| 1 | 2 | 3 |
| 内容まで知っている。 | 見聞きしたことはある。 | 全く知らない。 |
| 22.5 | 54.4 | 23.0 |

(b) 預金保険制度の保護の内容が、平成12年の預金保険法の改正によって変更されることになりました。

この改正では、特例として平成13年3月末まで預金の全額を保護することとされていたのが、平成14年3月末まで1年延長されたこと、流動性預金に限って全額保護の期間が平成15年3月末とされたこと、保護の範囲が原則「元本1,000万円」であったのが「その利息」も加えられたこと、などの変更がありました。あなたはこの変更をご存じですか。(は1つ)

1	2	3
変更された内容まで知っている。	変更されたことを見聞きしたことはある。	全く知らない。
7.4	37.7	54.6

(c) 証券投資家の保護を目的とした「投資者保護基金」という制度があります。同制度によって、顧客の預かり資産が正しく分別管理されていない場合等においても、原則として投資家1人当たり預かり資産1,000万円までが保護されます(13年3月末までは全額保護する仕組みがあります)。あなたはこの制度をご存じですか。(は1つ)

1	2	3
内容まで知っている。	見聞きしたことはある。	全く知らない。
3.3	25.6	70.9

(d) 保険契約者の保護を目的とした「保険契約者保護機構」という制度があります。同制度は、契約内容に応じ、責任準備金^(注)の一定割合を保護しています(13年3月末までは死亡保険金等を全額保護する仕組みがあります)。あなたはこの制度をご存じですか。(は1つ)

^(注)責任準備金とは、契約者が払い込んだ保険料から、保険金支払いに備えて保険会社が積み立てた積立金のことです。

1	2	3
内容まで知っている。	見聞きしたことはある。	全く知らない。
4.7	33.4	61.7

問17

(a) あなたは、ご自分の貯蓄などをより安全なものにするため、何かなさいましたか。

(はいいくつでも)

1 貯蓄商品の安全性に関する情報を収集した。	9.1
2 経営内容がより健全で信用度が高いと思われる金融機関に預け替えた。	14.8
3 預金保険が適用される商品に預け替えた。	2.1
4 1つの金融機関に預けた預金金額が1,000万円を超えないように、預け入れ先を複数に分散した。	10.5
5 現金で持つことにした。	3.5
6 何もしていない。	66.8
7 その他	3.7

(b) また、今後、ご自分の貯蓄などをより安全なものにするため、何かなさりたいと思いますか。
(はいくつでも)

- | | |
|--|------|
| 1 貯蓄商品の安全性に関する情報を収集したいと思う。 | 27.2 |
| 2 経営内容がより健全で信用度が高いと思われる金融機関に預け替えたいと思う。 | 26.1 |
| 3 預金保険が適用される商品に預け替えたいと思う。 | 12.3 |
| 4 1つの金融機関に預けた預金金額が1,000万円を超えないように、預け入れ先を複数に分散したいと思う。 | 19.8 |
| 5 現金で持ちたいと思う。 | 5.3 |
| 6 何もしないと思う。 | 38.2 |
| 7 その他 | 3.5 |

問18

金融商品の選択に関する「自己責任」という考え方について、どのように受け止めますか。
運用する金融商品(A～F)を具体的に考えて、もっとも近い考え方を選んでください。

- 1 自分で選んだ金融商品については、自分で責任を持つのは当然である。
- 2 どちらとも言えない。
- 3 自分で選んだ金融商品だから自分で責任を持てと言われても困る。

(はそれぞれ1つ)

	自分で責任を持つのは当然である	どちらとも言えない	自分で責任を持てと言われても困る
A 預金(外貨預金は除く)	29.8	25.1	43.7
B 外貨預金	42.7	41.2	12.3
C 株式	55.6	30.9	10.3
D 公社債投信(MMF、中国ファンド等)	36.4	44.3	15.6
E 保険(掛け捨て型を除く)	22.5	32.1	42.8
F 金融自由化の過程で開発された新しいタイプの金融商品(いわゆるハイテク商品やデリバティブ商品)	40.0	43.6	12.7

問19

あなたは、金融機関のサービスについて、現在不満に思っていたり、今後改善してほしいと期待しているものがありますか。(はいいくつでも)

- | | | |
|----|---|------|
| 1 | 新しい貯蓄商品やサービスの内容を、もっとわかりやすく説明してほしい。 | 31.8 |
| 2 | 総合的な資金管理について、きめ細かいアドバイスがほしい。 | 16.6 |
| 3 | 機械化の進展に伴いおろそかになってきている顧客とのコミュニケーションを、もっと図ってほしい。 | 18.5 |
| 4 | 機械に弱い高齢者等が気軽に相談できる専門の相談窓口を、設置してほしい。 | 26.9 |
| 5 | ホームバンキングやホームトレードに関するサービスを、充実してほしい。 | 5.2 |
| 6 | 平日の窓口の営業終了時刻を、延長してほしい(例えば、現行の3時を5時に変更するなど)。 | 47.6 |
| 7 | 土・日・祭日にATM(現金自動預け払い機)の機能をフル稼働させるとともに、稼働時間帯も拡大してほしい。 | 45.9 |
| 8 | 窓口等での待ち時間を、もっと短くしてほしい。 | 31.5 |
| 9 | 景品(ティッシュペーパー、ラップ等)にコストをかけるよりも、預金金利や貸出金利の面で顧客に有利なレートサービスを、してほしい。 | 50.5 |
| 10 | 低利の個人ローン(教育ローン等)を、拡充してほしい。 | 22.6 |
| 11 | 融資にあたっては、担保物件が乏しくても、人物やプロジェクトの質を見極めながら、弾力的に対応してほしい。 | 15.6 |
| 12 | 金融機関の業務に限らず金融や税金など暮らしに密着した情報を、幅広く提供してほしい。 | 22.6 |
| 13 | 金融機関の経営内容(業務状況、財務内容、収益構造等)を、もっとわかりやすく開示してほしい。 | 28.2 |

問20

ビッグバンは、わが国における金融面での規制を国際的な水準にまで緩和していくことで、市場原理の働きを高め、自由かつ透明で信頼できる金融市場を目指す一連の改革です。このビッグバンについて、お尋ねします。

(a) あなたは、ビッグバンを知っていますか。(は1つ)

1
知っている。
51.1
↓

2
知らない。
48.8
↓
問21へお進みください。

(前問で1と回答した人にお聞きします。)

(b) 今後、ビッグバンが進んでいくことによって、どんなことが予想されますか。(は1つ)

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | 金融機関の競争を通じて、日本経済が活性化するなど、わたしたちの生活に好ましい影響を与える。 | 28.7 |
| 2 | 金融機関の競争が激化した結果、金融機関の経営内容に格差が広がったり、金融商品が複雑になったりして、わたしたちの生活に負担がかかる。 | 40.3 |
| 3 | わたしたちの生活への影響はほとんどない。 | 11.7 |
| 4 | わからない。 | 19.1 |

問 2 1

(a) ここ数年、いくつかの金融機関の経営破綻がありました。あなたは何らかのかたちで、これに関わる経験をしましたか。あなたの経験として最も印象の強いものにつきお答えください

- (は1つ)
- | | | |
|---|--|------|
| 1 | 取引中の金融機関の経営が破綻するという経験をした。 | 9.9 |
| 2 | 取引していた金融機関が破綻する直前に、取引を止めた。 | 2.6 |
| 3 | 自分は直接経験していないが、友人や知人が、取引していた金融機関が破綻する経験をした。 | 15.7 |
| 4 | 自分は経験していないし、知人や友人も経験していない。 | 70.6 |

(b) あなたが取引している民間金融機関の経営内容について、どのように感じていますか。

- (は1つ)
- | | | |
|---|-----------------------------------|------|
| 1 | 経営内容は健全だと思っているので、不安はない。 | 30.1 |
| 2 | 多少経営内容は悪化していても、経営破綻する不安はないと思っている。 | 40.8 |
| 3 | 経営内容が悪化し、経営破綻もあるのではと、不安に思っている。 | 19.0 |
| 4 | 民間金融機関との取引はないので関係ない。 | 7.9 |

(c) 金融機関の経営破綻が相次いだ時期がありましたが、これから1～2年の間の金融機関全般の状況についてはどのようにみていますか。(は1つ)

1	2	3
落ち着きを取り戻すとみている。	現状と変わらない状況が続くとみている。	さらに混乱するとみている。
18.3	61.4	18.4

(d) あなたは、ご自分が取引する民間金融機関の経営内容について調べたことがありますか。

- (は1つ)
- | | | |
|---|--|------|
| 1 | 経営内容を確認したことがある。 | 7.9 |
| 2 | 経営内容を確認したいと思っても、確認の方法がわからないので、確認していない。 | 31.5 |
| 3 | 経営内容を確認したいと思っても、経営に関する情報が十分ではないと思っているので、確認していない。 | 28.1 |
| 4 | 経営内容を確認しようとは思わない。 | 31.1 |

問 2 2

(a) あなたのご家庭では、買物代金、旅行代金、公共料金等家計支出の資金決済手段としてどのようなものを主に利用していますか。この1年間についてお答えください。(は2つまで)

1	2	3	4	5
現金	クレジットカード	デビットカード	口座振替	その他
87.7	20.1	0.2	70.5	0.6

(b) 現金については、資金決済額全体の何割程度を決済していますか。下表に数値をご記入ください。

現金決済金額の割合

	6
--	---

 割

(c) あなたのご家庭では、手持ち現金（銀行券および硬貨）の残高は平均してどのくらいありますか。

百万 十万 万円

	2	9
--	---	---

なお、ご家庭で事業を営まれている方は、上記の金額のうち、事業用の決済に使用している現金がどのくらいあるかをご記入ください。

百万 十万 万円

	7	2
--	---	---

問 2 3

(a) あなたの家計（家族全体）の過去1年間の収入・支出それぞれについて、下表の該当する欄に金額をご記入ください。

億 千万 百万 十万 万円

収入 (+)	年間手取り収入 税引後 (注)	a			5	5	7
	貯蓄金取り崩し額	b				4	1
	新規借入金額	c				4	1
	土地住宅売却金額	d				1	3
支出 (-)	年間貯蓄額	e				7	9
	年間借入金返済額	f				6	9
	うち住宅ローン返済額					4	6
	土地住宅購入費用	g				4	4
	消費支出 (a+b+c+d-e-f-g)					4	6

(注) 年間手取り収入とは、就業に伴う収入、年金、不動産賃貸収入、利息収入等の税引後収入。

(b) あなたの家計では、1年前と比べて現在の手取り収入はどうでしたか。(は1つ)

1 増えた。 13.4	2 変わらない。 45.1	3 減った。 41.0
-------------------	---------------------	-------------------

(c) また、1年後の手取り収入をどうみていますか。(は1つ)

1 増えるとみている。 10.9	2 変わらない。 51.6	3 減るとみている。 37.0
------------------------	---------------------	-----------------------

問 2 4

あなたの家計では、過去 1 年間の消費支出をその前年と比べて増やしましたか、あるいは減らしましたか。(は 1 つ)

1 消費支出を増やした。 <u>22.1</u>	2 消費支出を変えていない。 <u>49.0</u>	3 消費支出を減らした。 <u>28.8</u>
↓	↓ 問 2 6 へお進みください。	↓

問 2 5

(前問で 1 と回答した人にお聞きします。)

(a) 次の選択肢の中から、消費支出を増やした主な理由を選んでください。

(は 3 つまで)

1	手取り収入が増えたから。	9.9
2	手取り収入は増えなかったが、先行きは増えていくとみているから。	4.5
3	1 ~ 2 年前よりも借入金の返済が進んで、消費にまわせる金額が増えたから。	5.8
4	物品などの購入にあたって、ローンが組みやすくなったから。	4.6
5	物やサービスの値段が安くなったから。	2.7
6	欲しいと感じる物やサービスが増えてきたから。	13.9
7	資産価格が上昇して、支出の増加に寛容になったから。	1.1
8	こどもの成長や家族構成員の変化に伴い、家族に要する費用が増えたから。	74.7
9	冠婚葬祭など付き合いごとが増えたから。	32.5
10	その他	15.6

(前問で 3 と回答した人にお聞きします。)

(b) 次の選択肢の中から、消費支出を減らした主な理由を選んでください。

(は 3 つまで)

1	手取り収入が減ったから。	71.4
2	手取り収入は減らなかったが、先行きは減っていくとみているから。	15.8
3	預貯金の利息や配当の金額が減ったから。	16.3
4	1 ~ 2 年前よりも借入金の返済が増えており、消費にまわせる金額が減ったから。	16.5
5	物品などの購入にあたって、ローンが組みにくくなったから。	3.5
6	物やサービスの値段が高くなったから。	13.2
7	欲しいと感じる物やサービスが減ってきたから。	12.2
8	資産価格が目減りして、支出の増加に慎重になったから。	9.2
9	こどもの成長や家族構成員の変化に伴い、家族に要する費用が減ったから。	16.8
10	今後の生活を展望して、貯蓄にまわす金額を増やしたから。	12.3
11	その他	8.5

問 2 6

あなたの家計では、今後 1 年間の消費支出を過去の 1 年間のそれと比べて増やしますか、あるいは減らしますか。(は 1 つ)

1 消費支出を増やす。 7.8	2 消費支出を変えない。 51.6	3 消費支出を減らす。 39.5
-----------------------	-------------------------	------------------------

問 2 7

あなたの家計では、現在、借入金はありますか。ただし、月賦払いの未払金やリボルビング方式^(注)借入れによる未払金は対象に含め、1～2か月後に決済するクレジットカード利用ツケ買いによる未払金は除きます。(は1つ)

^(注)リボルビング方式とは、あらかじめ設定した借入金額の利用限度枠内であれば何回でも利用でき、最初に決めた一定額を毎月、返済する借入方式のこと。

1
借入金がある。
43.8
↓

2
借入金がない。
55.9
↓
問30へお進みください。

(前問で1と回答した人にお聞きします。)

問 2 8

現在の借入金残高と借入先別内訳をそれぞれ下表にご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計		1	3	0	5
うち公的金融機関 ^(注1)			5	2	6
民間金融機関 ^(注2)			6	7	4
販売会社、クレジット会社等				2	4
貸金業者(消費者金融会社、質屋)					4
勤務先				4	7
親類、知人				2	3
その他					7

^(注1)住宅金融公庫、年金住宅福祉協会、国民生活金融公庫、郵便局等。

^(注2)銀行、信金、信組、労金、農漁協、保険会社等。

また、現在の借入金残高合計のうち、住宅ローン、教育ローン、フリーローン^(注)残高をそれぞれ下表にご記入ください。

^(注)フリーローンとは、借入金の資金用途が特定されていないローン(カードローンを含む)。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計		1	3	0	5
うち住宅ローン残高			9	2	6
教育ローン残高				1	3
フリーローン残高				7	1

→ 上記の合計の金額と一致

問29

あなたは、どのような目的で借入れを行いましたか。

次のうちから借入目的を選び、該当する番号に 印をつけてください。(は3つまで)

1 医療費や災害復旧資金にあてるため。	3.2
2 こどもの教育・結婚資金にあてるため。	11.7
3 住宅(土地を含む)の取得または増改築などの資金にあてるため。	63.4
4 日常の生活資金にあてるため。	11.6
5 耐久消費財(自動車、家具、家電等)の購入資金にあてるため。	23.5
6 旅行、レジャーの資金にあてるため。	2.2
7 株式等金融資産への投資資金にあてるため。	0.5
8 土地建物(マイホームは除く)等の実物資産への投資資金にあてるため。	6.6
9 相続税対策の資金にあてるため。	0.9
10 その他	12.3

問30

(a) あなたは、生活感覚として“経済的な豊かさ”と“心の豊かさ”について、どのように実感していますか。

それぞれ下表の各欄の番号に○印をつけてください。(はそれぞれ1つ)

	どちらかと言えば、 実感している	どちらかと言えば、 実感していない
経済的な豊かさ	31.8	66.9
心の豊かさ	52.6	46.2

(b) あなたは、“経済的な豊かさ”を実感するためには、次のうち何が大切だと思いますか。

(は2つまで)

1 マイホームなどの実物資産の取得	20.8	4 消費財購入やレジャー関連消費の充実	21.8
2 ある程度の額の金融資産の保有	50.1	5 その他	5.6
3 ある程度の額の年収の実現	62.8		

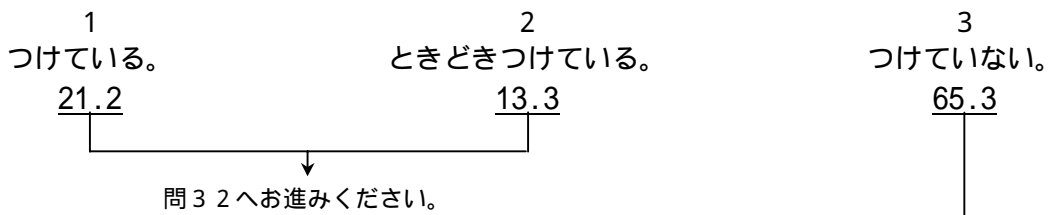
(c) また、“心の豊かさ”を実感するためには、次のうち何が大切だと思いますか。

(は3つまで)

1 経済的な豊かさ	48.4	6 将来の生活への安心感	38.0
2 趣味の充実	21.3	7 家族とのきずな	47.3
3 仕事の充実	17.1	8 人や社会への貢献	9.2
4 時間的な余裕	22.6	9 その他	1.4
5 健康	73.4		

問3 1

- (a) 家計簿の記帳についてお尋ねします。
あなたは、家計簿をおつけになっていますか。(は1つ)



(前問で3と回答した人にお聞きします。)

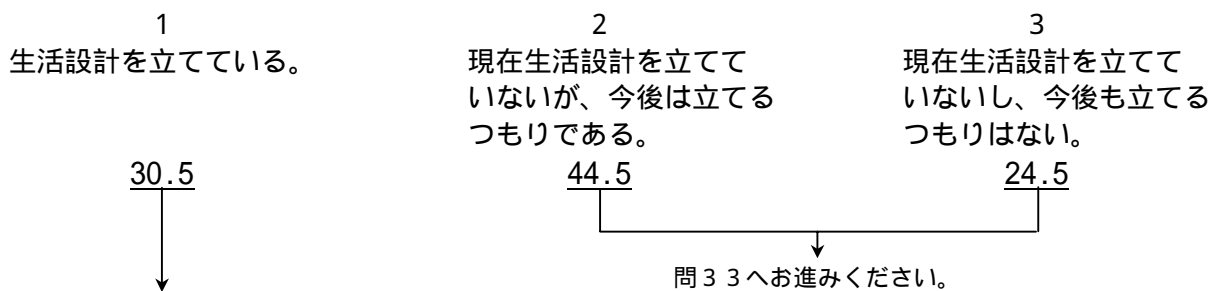
- (b) 次のうち該当する番号に 印をつけてください。(は1つ)

1 以前はつけていたが、今はつけていない。 50.1	2 これまでに全くつけたことがない。 48.0
----------------------------------	-------------------------------

(全員にお聞きします。)

問3 2

- (a) あなたは、将来のことを考えて生活設計を立てていますか。(は1つ)



(前問で1と回答した人にお聞きします。)

- (b) 何年くらい先まで考えて生活設計を立てていますか。(は1つ)

1 1～2年先まで 6.0	2 3～5年先まで 25.7	3 10年先まで 38.3	4 20年先まで 15.8	5 20年以上先まで 12.2
---------------------	----------------------	---------------------	---------------------	-----------------------

- (c) あなたは、生活設計と一緒に、将来の必要となる資金を貯める運用計画まで立てていますか。
(は1つ)

1 資金計画を立てている。 56.4	2 現在は資金計画を立てて いないが、今後は立てるつも りである。 36.0	3 現在資金計画を立てて いないし、今後も立てる つもりはない。 6.7
--------------------------	--	--

問33

あなたのご家庭では、現在どのような住居にお住まいですか。(は1つ)

持ち家あり	1	ご自身が購入した家屋マンション	55.6	持ち家なし	3	同居している親または親族の家	4.1
	2	相続または贈与を受けた持家	21.3		4	民間の賃貸マンション・アパート、借家	11.7
					5	公団公営の賃貸アパート	2.8
					6	官舎、社宅	3.4
					7	間借、その他	0.6

問36、問37へお進みください。

(前問で3～7と回答した人にお聞きします。)

問34

マイホームを取得していないご家庭にお尋ねします。

あなたのご家庭では、世帯主の方が何歳くらいの時にマイホームを取得する予定ですか。(は1つ)

1	20歳代	0.4
2	30歳代	10.7
3	40歳代	12.6
4	50歳代	5.4
5	60歳以上	1.6
6	親からの相続等によるので、いつになるかわからない。	18.4
7	マイホームの取得については目下のところ考えていない。	30.7
8	将来にわたりマイホームを取得する考えはない。	17.8

問35

近くマイホームを取得する予定があるご家庭にお尋ねします。

あなたのご家庭がマイホームを取得するのに必要な資金の総額はどのくらいですか。また、その資金をどのように調達する予定ですか。

それぞれについて、下表に金額をご記入ください。なお、買い換えの場合は、新旧物件の価格差ではなく、新規取得物件の方の総額をご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
必要資金総額		3	4	7	2
うち自己資金		1	0	7	7
借入金		2	3	9	5

(世帯主の年齢が満60歳未満のご家庭にお聞きします。)

問36

あなたのご家庭では、老後の生活費として、毎月最低どれくらい必要と思いますか(現在の物価水準を基準にお答えください)。

百万 十万 万円

	2	7
--	---	---

また、老後の生活資金として、世帯主の年金支給時に準備しておけばよい貯蓄残高は、最低どれくらいだとお考えですか。

億 千万 百万 十万 万円

老後の生活資金		2	0	9	9
---------	--	---	---	---	---

(世帯主の年齢が満60歳以上のご家庭にお聞きします。)

問37

あなたのご家庭では、生活費として、毎月最低どれくらい必要ですか。

百万 十万 万円

	2	7
--	---	---

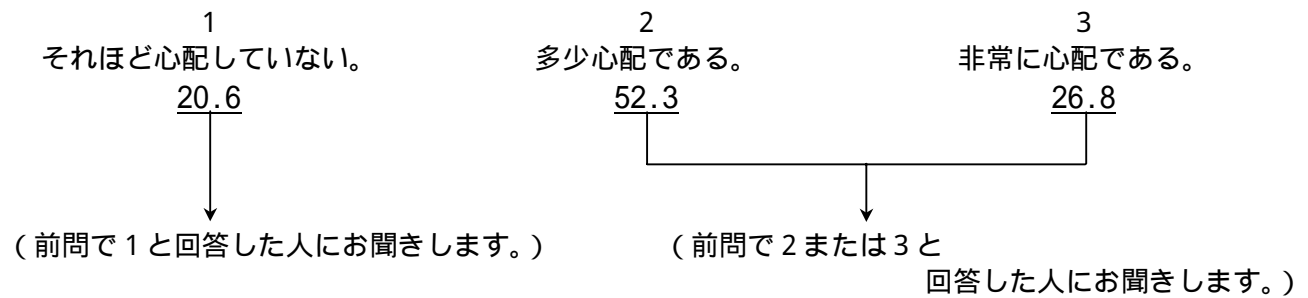
(全員にお聞きします。)

問38

(a) 現在の暮らし向きについて、どのようにお考えですか。(は1つ)

- | | |
|---------------------------------|------|
| 1 家計にそこそこゆとりがある。 | 11.8 |
| 2 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている。 | 52.7 |
| 3 家計にゆとりがなく、やや苦しい。 | 24.1 |
| 4 家計のやりくりが苦しい。 | 10.9 |

(b) また、老後の暮らし（高齢者は、今後の暮らし）について、経済面でどのようになるとお考えですか。（ は1つ）



問39

それほど心配していない理由は、次のうちどれですか。（ はいくつでも）

1	十分な貯蓄があるから。	11.1
2	退職一時金があるから。	20.3
3	年金（公的年金、企業年金、個人年金）や保険があるから。	67.0
4	生活の見通しが立たないほど物価が上昇するとは考えられないから。	23.1
5	十分な貯蓄はないが、老後に備えて着々と準備（貯蓄など）しているから。	33.4
6	再就職により収入が得られる見込みがあるから。	4.7
7	不動産収入（家賃、地代等）が見込めるから。	11.6
8	子どもなどからの援助が期待できるから。	5.9
9	親などからの遺産が見込まれるから。	2.9
10	その他	11.0

問40

多少心配である、非常に心配である理由は次のうちどれですか。（ はいくつでも）

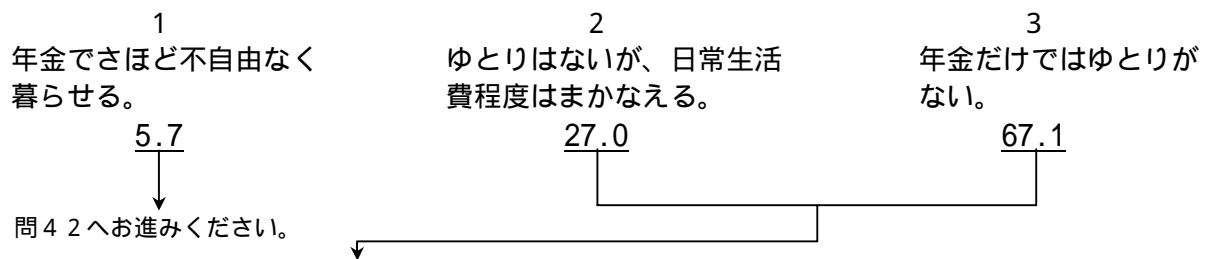
1	十分な貯蓄がないから。	72.2
2	退職一時金が十分ではないから。	27.2
3	年金（公的年金、企業年金、個人年金）や保険が十分ではないから。	69.4
4	生活の見通しが立たないほど物価が上昇することがあり得ると考えられるから。	19.7
5	現在の生活にゆとりがなく、老後に備えて準備（貯蓄など）していないから。	39.3
6	再就職により収入が得られる見込みがないから。	15.5
7	家賃の上昇により生活が苦しくなると見込まれるから。	2.5
8	マイホームを取得できる見込みがないから。	3.1
9	子どもなどからの援助が期待できないから。	17.8
10	その他	6.9

(全員にお聞きします。)

問4 1

年金について、お聞きします。

(a) 年金(公的年金・企業年金を含み、個人年金は除きます)で老後の必要資金をまかなえると思いますか。(は1つ)



(前問で2または3と回答した人にお聞きします。)

(b) その理由についてどのようにお考えですか。主な理由をお答えください。(は2つまで)

1 物価上昇等により費用が増えていくとみているから。	30.5
2 年金が支給される年令が引き上げられるとみているから。	37.6
3 年金が支給される金額が切り下げられるとみているから。	52.5
4 高齢者への医療・介護費用の個人負担が増えるとみているから。	47.5
5 その他	7.0

(c) 不足分をどうやってまかなおうとお考えですか(または、現在まかっていますか)。主な対応をお答えください。(は2つまで)

1 年金支給後も働いてまかなうつもり。	40.6	4 年金支給後の生活水準を引き下げつもり。	31.7
2 貯蓄でまかなうつもり。	34.9	5 まだ、先のことなので考えていない。	17.4
3 こどもからの援助でまかなうつもり。	3.5	6 その他	6.8

(世帯主の年令が満60歳以上のご家庭にお聞きします。)

問4 2

現在の生活費は、どのような収入源によっていますか。(は3つまで)

1 就業による収入	47.5	6 不動産収入(家賃、地代等)	8.5
2 公的年金	75.4	7 こどもなどからの援助	6.7
3 企業年金、個人年金、保険金	20.8	8 国や市町村などからの公的援助	0.6
4 貯蓄の取り崩し	21.7	9 その他	4.8
5 利子・配当所得	2.9		

(お子さんがいるご家庭にお聞きします。)

問43

あなたのご家庭では、お子さんに渡しているこづかいは、月平均で1人当たりどのくらいの金額ですか。

学齢区分ごとに、下表に金額をご記入ください。

	十	万	千	百	十	円
小学生(1・2年)			1	0	6	4
小学生(3・4年)				9	7	7
小学生(5・6年)			1	4	2	3
中学生			2	6	6	0
高校生			6	4	4	4

(全員にお聞きします。)

問44

以下の(1)～(5)に挙げた事柄について、ご自分はAとBのどちらに近いですか。

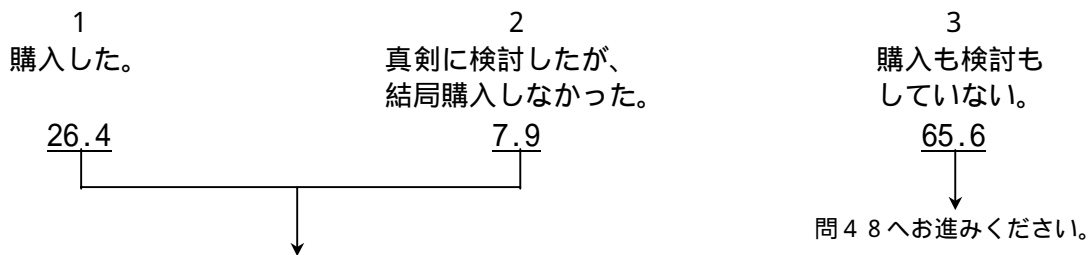
(はそれぞれ1つ)

		A に 近 い	ど 言 ち え ら な い も	B に 近 い			
		A		B			
(1)	金融商品について知識があると思う。	8.7	36.6	54.4	金融商品についてほとんど知識がないと思う。		
(2)	いろいろな金融商品の探し方を知っている。	7.0	31.0	61.4	いろいろな金融商品の探し方を知らない。		
(3)	金融商品に関する説明パンフレットを理解するのは簡単である。	8.1	40.5	51.1	金融商品に関する説明パンフレットを理解するのは難しい。		
(4)	どの金融商品が自分に適しているかを判断することは簡単である。	11.1	40.2	48.1	どの金融商品が自分に適しているかを判断することは難しい。		
(5)	金融機関の担当者等、専門家にアドバイスを求める前に、どの金融商品が適しているかを自分で考えようとする。	24.3	45.8	29.4	どの金融商品が自分に適しているかといった決定は、金融機関の担当者等、専門家に任せる。		

(全員にお聞きします。)

問45

(a) 過去2年間に新たに金融商品(預金、株式、保険等)を購入したり、あるいは真剣に購入を検討したりしましたか。(は1つ)



(前問(a)で1または2と回答した方にお聞きします。以下問47までお答えください。)

(b) 購入または購入を真剣に検討した金融商品のうち、主なものは次のうちどれですか。(は1つ)

1	預貯金(郵便貯金を除く)	15.6	8	株式	19.3
2	郵便貯金(簡保は除く)	10.8	9	株式投資信託	4.1
3	金銭信託・貸付信託	0.8	10	公社債投資信託(MMFなど)	4.1
4	生命保険・簡易保険	27.1	11	財形貯蓄	1.2
5	損害保険	2.5	12	外貨建金融商品(外貨預金、 外債、外貨建投資信託など)	5.4
6	個人年金保険	5.4	13	その他(具体的に)	0.6
7	債券(国債、社債など)	2.7			

(c) 前問でお答えになったものについて、購入ないし購入を検討したきっかけは何ですか。(はいくつでも)

1	金融機関の担当者等の勧め。	29.6
2	友人、家族の勧め。	12.1
3	取扱っている金融機関が増えて買いやすくなったから。	3.0
4	手数料などの取引コストが低下したから。	2.4
5	インターネットで気軽にできるから。	2.5
6	親しみのある金融商品だったから。	9.2
7	テレビ、新聞、雑誌等で取り上げられていたから。	8.4
8	病気やケガ等の突然の出費に備えて。	19.4
9	結婚、出産、住宅取得、老後(退職)等のイベントに備えて。	8.1
10	定期的な貯蓄の見直し時期だったから。	17.3
11	余裕資金ができたから。	13.7
12	何となく。	8.3
13	その他	12.1

(d) (b)で選んだ金融商品について購入ないし検討を行う際、入手した情報や自分の判断について、あなたはどのように感じましたか。(1)～(3)のそれぞれについてお答えください。

(はそれぞれ1つ)

		ど言思 ちえう らば かそ とう	ど言 ちえ らな とい も	ど言は ちえ思 らばわ かそな とうい
(1)	購入、検討に際して入手または提供された情報に満足している。(情報の質)	33.5	53.7	11.6
(2)	正しい判断を行うために必要な情報は全て入手できた。(情報量)	18.2	58.9	21.2
(3)	購入した、あるいは、検討した結果、購入しなかったという判断は正しかった。	31.8	55.8	8.7

問46

(a) 問45(b)で選んだ金融商品(購入した、あるいは真剣に検討した金融商品)について、情報を集めるために、どの手段をよく利用しましたか。(はいくつでも)

1	金融機関の窓口や営業担当者等の対面での説明	48.4
2	金融機関の電話による説明(テレフォンサービス)	6.2
3	金融機関が作成した商品説明のパンフレット	30.1
4	新聞記事(広告を除く)	16.5
5	雑誌記事(広告を除く)	7.6
6	テレビ番組(広告を除く)	3.9
7	新聞、雑誌、テレビの広告	7.6
8	インターネット	4.8
9	家族、友人のアドバイス	16.5
10	特定の金融機関に所属しない資産運用専門家のアドバイス	2.2
11	その他	8.7

(前問(a)で1、2、10と回答した方にお聞きします。)

(b) 受けた説明やアドバイスに対して、どのような対応を取りましたか。(は1つ)

1	説明やアドバイスを受けただけでなく、自分自身で別途の情報収集も行った。	31.0
2	説明やアドバイスをそのまま信用した。	58.5
3	説明やアドバイスには頼っていない。	10.3

(問45(a)で1または2と回答した方にお聞きします。)

問47

問45(a)で選んだ金融商品(購入した、あるいは真剣に検討した金融商品)について、金融商品の購入ないし購入を検討した際、金融商品の比較・検討についてのあなたの態度に最も当てはまるものはどれですか。(は1つ)

1	1つの金融機関の商品についてのみ検討した。	58.0
2	2つの金融機関の商品を比較した。	23.1
3	3つ以上の金融機関の商品を比較した。	12.5

(問45(a)で3と回答した方にお聞きします。)

問48

問45(a)で、「過去2年間、新たに金融商品について購入も検討もしていない」と答えた方は、以下の(1)～(10)に挙げた事柄に、自分があてはまると思われますか。(はそれぞれ1つ)

		ど言思 ちえう らば かそ とう	ど言は ちえ思 らばわ かそな とうい
(1)	適当な金融商品を選択するための十分な知識があるとは思わない。	73.1	23.5
(2)	どの金融商品で資金運用すべきかを決定するためには、何から始めれば良いのか分からない。	68.1	28.3
(3)	新しい金融商品がいろいろ出てきて良く分からない。	72.7	23.3
(4)	金融に関する計画を立てる時間的余裕がない。	55.9	39.8
(5)	まだ若いので、もう少し年をとったら金融に関する計画を検討したい。	28.7	66.2
(6)	そのうち貯蓄をしたいとは考えている。	67.8	28.0
(7)	貯蓄について考えるのは、面倒くさい。	30.1	65.6
(8)	遠い将来に備えるよりも今お金を使いたい。	26.2	69.6
(9)	現在既に十分な貯蓄があるのでこれ以上必要ない。	6.6	89.2
(10)	お金の余裕がない。	76.3	21.1

(全員にお聞きします。)

問49

金融商品や金融に関する情報源として望ましい媒体は何でしょうか。(は3つまで)

1	金融機関の窓口や営業担当者等の対面での説明	54.9
2	金融機関の電話による説明(テレホンサービス)	4.6
3	金融機関が作成した商品説明のパンフレット	38.3
4	新聞記事(広告を除く)	27.2
5	雑誌記事(広告を除く)	6.7
6	テレビ番組(広告を除く)	17.9
7	新聞、雑誌、テレビの広告	16.9
8	インターネット	10.6
9	家族、友人のアドバイス	16.5
10	特定の金融機関に所属しない資産運用専門家のアドバイス	20.6
11	その他	4.6

あなたのご家庭の状況に関するご質問

(a) あなたのご家庭の世帯人数は、自分も含めて何人ですか。(は1つ)

1	2	3	4	5	6
2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
24.9	23.3	26.2	15.1	6.6	3.9

(b) 世帯主の方は、満年齢で何歳ですか。(は1つ)

1	2	3	4	5	6	7
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上
2.9	14.2	21.1	27.0	12.8	10.7	11.3

(c) 世帯主の方のご職業は、次のうちどれにあたりますか。(は1つ)

1	2	3	4	5	6	7
農林漁業者	自営商工 サービス業主	事務系職員	労務系職員	管理職	自由業	その他
4.8	16.6	14.2	16.6	13.6	3.6	29.9

(d) ご家族の就業状況は、次のうちどれにあたりますか。(は1つ)

1	世帯主およびその家族ともに働いていない。	11.4
2	世帯主のみが働いている。	33.0
3	世帯主とその配偶者が働いている。	36.2
4	その他	19.2

(e) あなたのご家庭では、インターネットをお使いですか。(は1つ)

1	よく使っている。	10.8
2	たまに使っている。	15.1
3	今まで使ったことはないが、近々使おうと考えている。	30.6
4	使おうとは思わない。	43.1